

近赤外脂肪測定器

光センサーにより魚の脂肪含量を非破壊・迅速に測定します

外観(表)



(裏)



*使用電池はニッケル水素電池に限ります
(商品名:エネループ等)
通常の単4乾電池は使用できません

光源点灯時の測定ヘッド



魚測定時のイメージ



*推定誤差のめやすは、ホームページをご覧ください

*1回の測定時間は2~3秒間

開発元：f-satec(エフ・サーテック)

静岡県浜松市中央区

ホームページ：<https://f-satec.com>

メール：sysman@f-satec.com

製品の仕様

- ・光 源 ハロゲンランプ(5V1A)
- ・電 源 単4乾電池6本(ニッケル水素充電池)
- ・大きさ 145×95×32mm(突起物含まず)
- ・重 量 310g(電池含む)
- ・測定回数 1回充電で100~200回
- ・検量線登録数 1成分
- ・検量線作成
MLR:最大4波長 PLSR:最大7成分
- ・スペクトル処理、計算方法
D2、Abs、Reflectance、D1(D2以外は本体内コードの書き換えが必要)
- ・分光器ユニット
C11708MA(株)浜松ニクス、256チャンネルCMOSリニアイメージセンサ、反射型回折格子)
- ・波長範囲 およそ600-1050nm
- ・波長校正
波長変換係数が(株)浜松ホトニクスより添付(重回帰校正)
- ・公開データ
12bitAD変換データ(サンプル及びダーク測定)からD2スペクトルデータまで
- ・本体の環境変数の変更
市販プログラマの追加購入が必要(測定器内部の基板上にて操作)
- ・測定方法
測定ヘッド(ハロゲンランプが内蔵されている黒色の突起部分)を魚の所定部位に軽く押し当てて、測定ボタン(赤色)を押すと2~3秒後に本体液晶に脂肪含量〇%が表示